

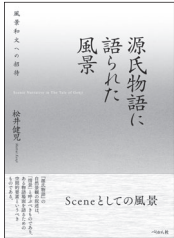
ぺりかん社 刊行案内 2022年5月

〒113-0033
東京都文京区本郷 1-28-36
電話 03-3814-8515
FAX 03-3814-3264

源氏物語に語られた風景

分野：中古文学

風景和文への招待



松井健児 [駒澤大学教授] 著

『源氏物語』の自然景観の叙述は、「情景」と呼ぶべきものであり、ある物語場面を語るための空間的要素というべきものである。近代的な創作主体である作者による描写から離脱し、古代後期の物語の特質を俯瞰する。

A 5判上製 / 264頁 / 定価：本体4500円＋税
ISBN978-4-8315-1610-7 2022年5月刊

【主要目次】

序章 風景和文の主題

- 1 風景和文の形成—『源氏物語』の空間の成立
- 2 風景和文の理想—『源氏物語』の春秋の幻景
- 3 風景和文の領域—『源氏物語』の演技する空間
- 4 風景和文の変容—『源氏物語』の景物の構成
- 5 風景和文の意匠—『源氏物語』の橋と鳥の形象
- 6 風景和文の遠近—『源氏物語』の接続する主体

終章 風景和文の思想

附章一 海辺の風景—『源氏物語』の須磨・明石から大堰へ

附章二 よい匂いのする情景—『源氏物語』の花の庭・樹木の香り

附章三 四季の歌—『源氏物語』の和歌生活としての自然

歴史で読む国学

分野：日本思想・歴史

國學院大學日本文化研究所 編



日本社会が大きく変動した近世という時代に登場し、近代というさらなる激動期に洗練と制度化を経た国学思想の内実と方法を現代にいたるまで通史として叙述し、混沌と通説の狭間にあるその可能性を追求した新しい入門書。

四六判並製 / 304頁 / 定価：本体2200円＋税
ISBN978-4-8315-1611-4 2022年3月刊

【主要目次】

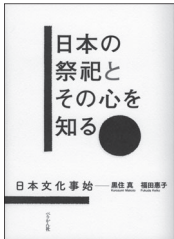
- 1 元禄期 徳川光圀と契沖 / 2 宝永～享保期 荷田春満の活動を中心に / 3 元文～延享期 荷田在満・賀茂真淵の時代 / 4 宝暦・明和期 賀茂真淵と本居宣長 / 5 安永・天明期 多様化する国学 / 6 寛政期 復古の諸相 / 7 享和～文政期 宣長学の継承と平田篤胤の登場 / 8 天保期～ペリー来航 本居門・平田門と草莽の国学 / 9 ペリー来航後～慶応三年 平田派・本居派の動向と尊攘運動 / 10 明治元年～明治八年 明治新政府と国学者 / 11 明治八年～明治二十三年 「明治国学」の成立 / 12 明治中期～昭和二十年代 「新国学」の提唱 / 13 明治後期～現在 「国学」研究の近現代史

【執筆陣】50音順 一戸 渉・遠藤 潤・小田真裕・木村悠之介・齋藤公太・武田幸也・岡芝志保・古畑侑亮・松本久史・三ツ松誠

日本の祭祀とその心を知る

分野：日本文化・思想・宗教

日本文化事始



黒住 真 [東京大学名誉教授] 著

福田恵子 [拓殖大学教授] 著

慣習や伝統行事など生活のなかで営まれる「祭祀」について、歴史をさかのぼってその思想と「かたち」をとらえ、現代の社会についても検討する日本文化入門。索引、関連年表等を付す。

四六判並製 / 256頁 / 定価：本体2000円＋税
ISBN978-4-8315-1604-6 2021年12月刊

【主要目次】

- 1 カミさらに神とは カミの定義／歴史的背景によるカミの変遷
- 2 祭りと祀る 祭祀を遡る／律令制での祭祀／祭りの構造
- 3 心と言葉 心のとらえ方／心はどこから来たのか
- 4 習合と信ずる軌跡 習合宗教への道／古代を遡っての言葉と祭祀
- 5 天と地と人 天のとらえ方の変遷／天と神の関係／天と地と仏教
- 6 道徳と人間 育まれる道徳の心／宗教と戒律／近代社会と道徳
- 7 死とは何か、生とは何か 死生・来世からの人間の営みと儀礼
- 8 絆をめぐって 講の活動／絆をめぐる物語／大きなつながり
- 9 女性とジェンダー 女性の思想的位置づけ／女性の連帯
- 10 人間の対立と宗教 宗教間の対立／対立から歩み寄る方向へ
- 11 和のかたちと日本 神霊をともなった和／近世以後の社会統合と和

浅見綱齋全集稿本 舞田敦編

分野：日本思想

上・中・下巻セット



清水則夫・三浦國雄 監修

【影印と解題】山崎闇齋学派の学統の証として、崎門三傑の一人・浅見綱齋の遺著を明治～大正時代にかけて日本全国隈なく渉猟・整理し、集大成しながら百年以上も秘蔵されてきた幻の全集の待望の公刊。*呈内容見本

B5判3冊函入 / 総2136頁 / 定価：本体90000円＋税
ISBN978-4-8315-1605-3 2022年2月刊

能と狂言 19

分野：古典芸能・演劇

特集・曾我兄弟の伝承と能



能楽学会 編・発行

執筆＝【特集】伊海孝充／坂井孝一／小井土守敏／竹本幹夫／表きよし / 【トークセッション報告】石井倫子 / 【論文】米田真理 / 【テーマ研究】高橋悠介／中尾薫／玉村恭／川口晃平 他

A 5判並製 / 144頁 / 定価：本体2000円＋税
ISBN978-4-8315-1598-8 2021年11月刊

八犬伝をみちびく糸

分野：近世文学・思想

馬琴と近世の思考



西田耕三 [元近畿大学教授] 著

『南総里見八犬伝』創作の根本思想というべき馬琴が理想とした倫理や、小説を自立させるための工夫、小説を書くための技法・作法など、中国の史書や儒教・仏教などの古今の文献を引用しつつ縦横に読み解く。

四六判上製 / 336頁 / 定価：本体3600円＋税
ISBN978-4-8315-1595-7 2021年10月刊

【主要目次】

- 1 馬琴の天機 『八犬伝』の天機／天機の意味／天機漏洩の罪と罰
- 2 『八犬伝』と造化 自然の造化／造化の黙契／八犬士の「随一」／造化の原生態／造化の小児／造化と人
- 3 君子の戯言—『八犬伝』の発端 玉梓と金碗八郎／妙椿／語儉
- 4 故旧を求める人々 背景の倫理／小説の意義／恣意から独創へ
- 5 身と心 身体の代理物／親の遺体／寛の一字／荊棘と平坦／迂遠の道／見える心／行為論
- 6 勸懲の主人公 主人公の語義／勸懲と教訓／勸懲拾遺
- 7 名詮自性と拆字—思想と遊び 登場人物の名前／名詮自性と拆字／『八犬伝』の拆字／馬琴以前／中国の拆字
- 8 『八犬伝』の自注 同工異趣／倚伏／湊合

2022年 月 日

書名 源氏物語に語られた風景 特別価格4,400円（税・送料含）	冊
書名	冊
書名	冊
書名	冊
書名	冊
書名	冊
書名	冊
書名	冊
書名	冊
書名	冊

..... 上記書籍を[私費 ・ 公費]で申し込みます。 合計: 冊

お名前 ふりがな	所属学会 中古文学会
ご住所 〒	勤務先
Tel.	
E-mail	

●公費の場合●（必ずご記入下さい）

請求書お宛名： 様宛	必要書類： 見積書 ・ 納品書 ・ 請求書 その他()
	請求日の記載 : 要 ・ 不要

ペリかん社 営業部 Tel.03-3814-8515/Fax.03-3814-3264